

基本政策 1 快適な生活環境で過ごす

【基本政策の方向性】

環境に配慮した取組を進め、都市と自然との調和を図りながら、市民が将来にわたって快適な生活環境で過ごすことができる“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

「快適な生活空間形成の推進」

市民、事業者、行政が一体となって環境の保全、創造に向けた活動に取り組み、将来にわたって住みよい“まち”、快適な生活を送れる“まち”の形成を推進します。

【数値目標】	現状値	目標値
良好な生活環境の維持	－ ⇒	維持・向上 (各基本施策のKPIの全てを達成)

基本施策

1－1 不法投棄対策の推進

不法投棄を防止するため、パトロールなどを行い、不法投棄されにくい環境活動を進めます。

【KPI】	現状値	目標値
不法投棄物の削減	20,000kg (H30) ⇒	15,000kg (R7)

【主な取組】 不法投棄防止対策の推進

県や警察と連携した不法投棄防止対策を展開し、クリーンアップ運動などの環境美化活動を推進します。

【KSF】	現状値	目標値
看板の設置・提供数	60 (R1) ⇒	維持 (R7)

1-2 公害対策（大気汚染・騒音・悪臭・放射線など）の推進

大気環境や河川の水質の監視、測定を行い、その結果を公表するとともに環境状況を把握し、良好な環境を維持していきます。

【KPI】	現状値	目標値
環境指標物質（ダイオキシン等）における環境基準の達成	全項目の達成（R1） ⇒	全項目の達成（R7）

【主な取組】 公害等監視体制の充実

大気中の二酸化窒素や大気・土壌のダイオキシン類、河川の水質、自動車騒音、空間放射線量などについて毎年測定を行い、その結果を公表し、公害等を監視する体制を充実します。

【KSF】	現状値	目標値
公害分析調査	1 回/年（R1） ⇒	維持（R7）
放射線量測定	6 回/年（R1）	

1-3 きれいなまちづくり

公共空間における環境美化に取り組むなど、きれいなまちづくりを推進します。

【KPI】	現状値	目標値
公共空間における環境美化活動の継続（クリーン作戦でのごみ回収量）	9,400kg/年（R1） ⇒	10,400kg/年（R7）

【主な取組】 環境美化活動（クリーン作戦）の推進

環境美化活動を実施している市民団体や事業者に対して、必要な物品の貸与、提供等の支援を行い、環境美化活動の推進に取り組みます。

【KSF】	現状値	目標値
環境美化活動（クリーン作戦）参加人数	8,000 人/年（R1） ⇒	8,500 人/年（R7）

関連する SDG s ゴール



大気、水質及び土壌の汚染による環境悪化を監視し、健康な生活を確保します。

関連ターゲット (3-9)



不法投棄の防止のため、関係機関と連携し、パトロールなどによる監視体制を強化します。また、大気、水質及び土壌の汚染や不法投棄を監視し、環境上の悪影響を軽減します。 関連ターゲット (11-6)



大気や水質及び土壌の汚染等を監視し、汚染物質を排出している原因者に指導を行います。 関連ターゲット (12-4)



クリーン作戦などによるごみ拾いや、水質汚染などを監視し、河川を経由した海洋汚染を防止します。 関連ターゲット (14-1)



湧き水などの自然環境の保全とともに特定外来生物の駆除を行い、生態系の保持や生物多様性の保全を図ります。 関連ターゲット (15-5、15-8)



快適な生活環境づくりのために、市民、事業者、行政が情報共有、役割分担、連携を行い、共生できるまちづくりに参加します。 関連ターゲット (17-16、17-17)

関連計画等

第2次富士見市環境基本計画改定版（平成30年度～令和3年度）

第3次富士見市美化推進計画（令和2年度～令和6年度）

関連部署

自治振興部 環境課

